



サイバーセキュリティ

診断チェック表



第8回：中小企業が組織として実践するためのスキル・知識と人材育成

- check 01 iCD を人材育成とスキル向上に活用している。
- check 02 iCD の企業・組織での利活用の考え方で運用している。
- check 03 iCD のタスク/スキルで職務と必要スキルを整理している。
- check 04 Di-Lite の3領域を社員教育の対象として設定している。
- check 05 Di-Lite 対応シラバスを学習内容の参考としている。
- check 06 IT パスポートの学習・受験を基礎教育に取り入れている。
- check 07 情報セキュリティマネジメント試験を育成施策に位置づけている。
- check 08 基本情報技術者試験を人材育成施策に位置づけている。
- check 09 応用情報技術者試験を人材育成施策に位置づけている。
- check 10 分野別スペシャリスト試験を育成目標の一例として活用している。
- check 11 情報処理安全確保支援士を目指す人材の育成を進めている。
- check 12 国際セキュリティ資格を高度人材育成の選択肢としている。
- check 13 経営層向け/部課長向けカリキュラムを役割別に整理している。
- check 14 IT スキル標準に基づくモデルカリキュラムを参考にしている。
- check 15 外部教材を学習手段の一つとして活用している。
- check 16 「プラス・セキュリティ」に基づき人材育成計画を運用している。
- check 17 「リスクリング/チェンジマインド」に基づき育成している。
- check 18 ITSS を参照し、教育設計に反映している。
- check 19 ITSS+ のセキュリティ領域を教育対象に含めている。
- check 20 認定制度を人材育成の手段の一つとして活用している。

令和7年度

中小企業サイバーセキュリティ支援事業 実践力強化プログラム

※当事業は東京都より委託を受け、株式会社 NTT ExC パートナー（エヌ・ティ・ティ エクシーパートナー）が運営しています。

事業の公式サイトはこちら

<https://zissenkyouka.metro.tokyo.lg.jp/>

